新しい自分と仲間に出会う夏 リーダーと一緒に大自然に飛び込もう！

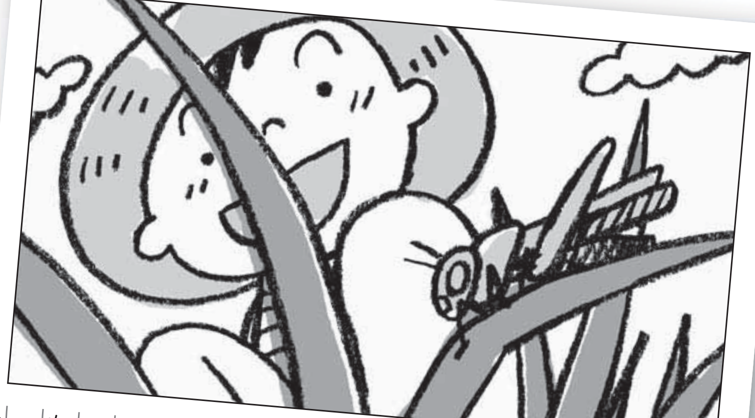
リーダーたちのキャンプの思い出を紹介

7月28日 移動デイキャンプ
不思議な才能

　緑の原っぱでレクリエーションをした時のこと。一人の女の子がかわいい四つ葉のクローバーを摘みとってきてくれました。「ありがとう」と言って、それを受け取りました。それから間もなく、今度は別の会場のアスレチック広場でも、その女の子が四つ葉のクローバーをみつけてくれました。こちらもいっしょうけんめい探しますが、やっぱりみつかりません。

　次の日の活動でも、その女の子は道端で四つ葉のクローバーをみつけてくれました。どんなに探しても、リーダーにはみつかりません。子どもには不思議で、すてきな感性があるのでしょうね。ほほえましい思い出です。

ふじさんリーダー



8月18日 昆虫博士キャンプ
夢中になる力

　去年の昆虫博士キャンプ、参加をしたお友だちのほとんどが「虫」には目がない昆虫大好きっ子たちばかり。キャンプ場に着くやいなや虫取りアミを片手に虫を探し始めます。まだ、テントも張っていないし、荷物もそのまま…。でも、そんなのお構いなし。ここにはどんな虫がいるのだろう？と走り回ったり、地面に顔を近づけたり夢中で探していました。

　その後も、ちょっとでも空き時間を見つけると虫カゴ、虫取りアミを手に虫探しに出かけていく光景が見られました。大好きなことに夢中になることの大切さ、楽しさを、虫を探す子どもたちの姿から教えられたキャンプでした。

げじパパリーダー

8月5日 久住登山キャンプ
感動の涙

　この日は久住山への登山の日。子どもたちやリーダーも朝からきんちょうしていました。きつい上り坂や岩場を、みんなではげまし合いながら歩きました。頂上が見え、最後のきつい上り坂に差しかかった時、1人のメンバーが「足が痛いからもう登れない！」と言って、その場に座りこみました。私ははげまし、そして手をとり一緒に登りました。

　みんなにはげまされ、最後まであきらめずに登り切った子どもの目からは、大つぶの涙がこぼれていました。何かを乗り越えた達成感と、頂上にとう着した時のそうかい感！この夏最高の思い出が刻まれました。

キンギョリーダー

8月5日 フィッシング海あそびキャンプ
キャンプの収獲

　魚釣りでは、場所・天気・潮・道具・えさなど、いろいろな条件に対応する力が試されます。相手は自然。時に大物が釣れる日があれば、まったく釣れない日もある。そこが釣りの面白さでもあります。

　このキャンプの魚釣りで、一匹も釣れなかった男の子がいました。リーダーが「残念だったね」と声をかけました。すると、「うん…でも、みんなと一緒に魚釣りに来られたから、よかった！」という答えが返ってきました。同じキャンプに参加して心でつながったお友だちは、手に入らなかった魚よりも大きな収かくだったようです。よーし今年こそはお魚もゲットするぞ！

りゅうリーダー

7月29日 清流の森キャンプ
ひとみ、輝く

　ギラギラ照りつけるおひさまには、麦わら帽子が一番。森の中、渓流の音を聞きながら、夢中になってトンボを追いかけました。特にオニヤンマを捕まえるには、一度通り過ごさせ、何回かじっくり観察したうえで、目の前を通ったしゅんかんに、後ろからアミをすばやく振り抜きます。

　自然豊かなキャンプ場では、人間も自然の一員。子どもたちのひとみがキラキラとかがやきはじめます。アミでつかまえるのは虫だけじゃない。新しい自分や野性の力、協力するすばらしさ、満天の星空、新しい発見、生きる力などなど。麦わら帽子、アミや虫カゴは、夏キャンプのパスポート！待ってるよ！

タヌキリーダー

8月19日 渓流冒険隊キャンプ
とっておきのプレゼント

　その日は、真っ暗になった森の中、渓流の音を聞きながら、楽しい最後の夜をキャンプファイヤーで過ごしました。自然豊かなキャンプ場で、思いきり遊んだキャンプでした。自然の素晴らしさを満きつしたと思っていたところで、もう一つ自然からとっておきのプレゼントがあることを、子どもから教えてもらいました。

　ファイヤーを終えて戻ろうとしていた時、「リーダー、上を見て！」。見上げると、谷間から見える夜空にあふれんばかりの星・星・星！子どもの感性はすごい！その圧とう的なかがやきにしばらく見入ってしまいました。大きな感動をありがとう！

カマキリリーダー